

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	モラル・マナーアップの推進						掲載ページ		
							138		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	市民文化スポーツ局
		32,943	千円	35,591	千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	安全・安心都市整備課

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか 4つの迷惑行為をなくすために小倉・黒崎地区を迷惑行為防止重点地区に指定し、過料の適用を実施しています。また、条例周知のための広報や路面表示等を実施しています。また、自主的に迷惑行為の防止に取り組む地域を支援し、地域活動の活発化を図ります。迷惑行為防止基本計画に基づき、マナーアップ教育や市民啓発の推進などの各施策に取り組むことにより、全市的なモラル・マナーの向上を図ります。	活動実績 活動結果は下記のとおりです。
活動計画	重点地区（小倉・黒崎地区）において、巡視活動を実施するとともに、条例や重点地区についての広報・啓発を行います。また、地域において迷惑行為防止に取り組む団体に支援を行います。基本計画に基づき、児童に対してマナーアップ教育等に取り組めます。	

活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	迷惑行為防止重点地区での巡視・啓発回数	巡視員による定期的な巡視・啓発活動に取り組むことが、重点地区での迷惑行為の防止に繋がると考え、活動指標に掲げました。 （最終目標と最終年度）	月平均 17 日	月平均 15 回以上	月平均 21 回 140.0 %	大変順調 順調 やや遅れ
迷惑行為防止地域活動支援事業制度の周知・広報 全市的に迷惑行為を無くしていくためには、地域住民が自主的に迷惑行為防止の取り組みを行うことが重要なため、迷惑行為防止地域活動支援事業制度の周知・広報を活動指標に掲げました。 （最終目標と最終年度）		606 部	地域団体等への広報物配布部数 600 部	116 部 22.9 %		
モラル・マナーアップ教育教材の配布 市内の小学校6年生を対象としたマナーアップ教育教材を配布し、各小学校に配布することが、マナーアップ教育の推進に繋がると考え、活動指標に掲げました。 （最終目標と最終年度）		8,800 部	8,600 部	9,772 部 113.6 %	遅れ	順調

## 【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	重点地区で継続して巡視活動を実施し、広報活動の充実に取り組んだ結果、迷惑行為、特に路上喫煙者は大幅に減少し、市民のモラル・マナーの向上に高い効果が見られました。 また、推進地区以外の地区を対象に地域支援事業を実施したところ、目標を上回る申請があり、地域住民による自主的な活動が活発化しました。広報活動は、「地域団体等への広報物配布部数」が22.9%と減少していますが、これは無料の広告媒体を活用したことによるものです。マナーアップ教育を推進するため、小学6年生を対象とした道徳教育を作成し、市内の各小学校に配布しました。
	「経済性」「効率性」の分析 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	重点地区での巡視や過料の徴収では、違反者とのトラブルも発生しており、民間での対応は困難であると考えています。このため、巡視員には法的知識を有しトラブルへの対応能力も高い警察OBを起用しており、今後も、最小人数でより効果的な取り組みとなるよう、工夫を重ねていきます。 広報活動については、無料の広告媒体（市政テレビ、ラジオ、市のHP等）を中心に実施し、地域への支援物品についても必要最小限のものに抑えています。市民のモラル・マナーの向上のためには、地域住民の自主的な活動を支援していくことが重要であると考えています。

## 【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること

引き続き重点地区の巡回指導・過料徴収を行い、広報活動を継続して行うとともに、迷惑行為の防止に自主的に取り組む推進地区を含む地域住民による活動の活発化を図ります。また、「北九州市迷惑行為防止基本計画」に基づき、モラル・マナーアップ教育の充実や市民啓発の推進に取り組めます。条例や事業の周知を図るため、市の広報媒体の利用や音声放送の充実などにより、積極的に広報活動を行います。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	「スクール救命士」事業の推進						掲載ページ
							138
コスト	事業費	平成26年度執行額	平成27年度予算額	政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	消防局
		837 千円	2,336 千円 <small>(応急手当の普及啓発活動の推進の総額。本事業はその一部)</small>	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	救急課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	全市民が応急手当ができる安全・安心なまちとなるよう、小学校、中学校、高校と発育段階に合わせた応急手当の講習を実施します。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	講習実施を希望する学校で講習を実施するとともに、未実施校に対し事業の有用性を説明し実施を促します。						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】	
	小学校の講習実施率	87 %	90 %	94 %	大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	最終的には市内全ての小学校での実施を目指していますが、隔年実施の学校があるため最終目標は99%としました。 (最終目標と最終年度) 99% (平成29年度)			104.4 %			
	中学校の講習実施率	85 %	90 %	93 %	やや遅れ 遅れ	順調	
最終的には市内全ての中学校での実施を目指していますが、隔年実施の学校があるため最終目標は99%としました。 (最終目標と最終年度) 99% (平成29年度)	103.3 %						

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	目標値を上回っており、順調に進んでいます。しかし、学習指導要領に含まれていない授業時間を確保することは難しく、本事業の推進にあっては、各学校の判断になるため、全校実施には至っていません。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	本事業は、可能な限りの短い時間、少ない人件費での実施を行っているため、現状より低いコストで実施することはできません。また、応急手当の普及啓発活動は国の通知により、市が行うこととされており、同様の講習を行う民間組織は本市に存在しません。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
引続き実施を希望する学校で講習を実施するとともに、未実施校に対し事業を紹介します。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	生活安全パトロール隊の支援						掲載ページ		
							138		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	市民文化スポーツ局
		41,384	千円	2,960	千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	安全・安心推進課

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	犯罪被害の防止には、市民の防犯意識の高揚や自主的な防犯活動への取組みが重要です。本事業では、地域の自主防犯団体「生活安全パトロール隊」に対し人的・物的支援を行い、活動の活発化を図るとともに、市民防犯大会の開催や市民への防犯情報の提供などにより、市民が安全で安心して暮らすことのできる「安全・安心なまち北九州市」の実現を目指します。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。
活動計画	生活安全パトロール隊に対し、現在行っている支援に加え、支援物品を充実します。また、指導員を全区に配置し、防犯活動に関する指導・助言等を行うとともに、腕章、帽子などの支援物品を支給するなど、地域の自主防犯活動を推進します。			

活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	生活安全パトロール隊による年間パトロール実施回数	犯罪被害の防止には、市民の防犯意識の高揚や自主的な防犯活動への取組みが重要であると考え、各生活安全パトロール隊による年間パトロール実施回数を活動指標としました。なお、実施回数は、校区の生活安全パトロール隊による、自主防犯活動実施回数の1年間の合計値を全校区(131校区)で割った、1校区当たりの平均実施回数です。 (最終目標と最終年度) 200回以上 (平成31年度)	217 回	200 回以上	234 回 117.0 %	大変順調
生活安全パトロール隊による年間パトロール参加人数		犯罪被害の防止には、地域住民の自主的な防犯活動への取組みが重要であると考え、各生活安全パトロール隊による年間パトロール参加人数を活動指標としました。なお、参加人数は、各校区の生活安全パトロール隊による、自主防犯活動参加者の1年間の合計値を全校区(131校区)で割った、1校区当たりの平均参加人数です。 (最終目標と最終年度) 1,000人 (平成31年度)	1,436 人	1,000 人	1,798 人 179.8 %	やや遅れ 遅れ

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	町内の防犯パトロールや子どもの登下校時の見守りを毎日(平日)実施する地域があるなど、平均して、1校区につき年間約234回、1798人の参加があり、順調に活動を継続しています。こうした地域の自主的な防犯活動は犯罪発生を抑制するとともに、地域住民の体感治安の向上につながります。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	生活安全パトロール隊の活動はすべてボランティアによるもので、この事業では活動に対する人的支援(指導員による助言等)と物的支援(腕章、帽子などの支給)を実施しています。支援物品については、26年度、新たに品目を加え充実を図りました。支援物品は、毎年、購入数量を見直すなど、効果的かつ効率的な支援を心掛けています。

## 【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること

地域住民の防犯活動を促進し、充実したものにするため、人的・物的支援の内容を随時検討し、効果的な支援を図ります。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	安全セミナーの開催						掲載ページ		
							139		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	市民文化スポーツ局
		1,426	千円	0	千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	安全・安心推進課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	子ども達の犯罪被害の防止のため、市内の小中学生を対象に「体験型」のセミナーを開催し、子どもの危機回避能力の向上を図ります。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	繁華街での防犯パトロール等を全国的に展開しているNPO法人「日本ガーディアン・エンジェルス」から講師を迎え、開催を希望する小中学校を対象に、安全セミナーを実施します。					
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	安全セミナーの年間実施校数	28 校	25 校	24 校	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	子ども達の犯罪被害の防止に繋がると考え、安全セミナーの年間実施校数を活動指標として掲げました。 （最終目標と最終年度） 25校（平成31年度）			96.0 %		
					やや遅れ	順調
（最終目標と最終年度）				遅れ		

【Check】評価(分析)		
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。  平成26年度は、おおむね目標どおりの小学校24校、7,128人が受講したほか、保護者の参加もありました。 子どもたちや教員から、「危険を察知し、近づかないこと」や「自分の身は自分で守る」などの防犯意識が芽生えたという声が多く寄せられ、大変好評を得ていることから、順調としました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  NPO法人ガーディアンエンジェルスを講師として活用しました。民間活力導入による経済性・効率性の向上が得られました。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
平成27年度は、開催を希望する小中学校を対象に、計15校のセミナーを実施する予定です。（暫定予算のため7月から実施） まだ未実施の学校での開催を積極的に呼びかけ、全学校での実施を目指します。 また、保護者の参加を増やして、子どもを見守る家族の防犯力アップを図ります。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	ガーディアン・エンジェルスセイフティ・センター運営支援事業						掲載ページ		
							139		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	市民文化スポーツ局
		1,800	千円	1,800	千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	安全・安心推進課

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	繁華街での防犯パトロール等を全国的に展開しているNPO法人「日本ガーディアン・エンジェルス」の活動を支援することにより、青少年の健全育成等を図ります。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	NPO法人「日本ガーディアン・エンジェルス」による青少年の悩みごと相談や自立支援等の拠点となっている「セイフティ・センター」の運営を支援します。								
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】			
	青少年からの悩み相談、自立支援、街頭パトロールの実施	・青少年の健全育成 ・街頭パトロールの実施	・青少年の健全育成 ・街頭パトロールの実施	・青少年の健全育成 ・街頭パトロールの実施	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック  <b>順調</b>			
	繁華街での防犯パトロール等を全国的に展開している当該団体の特色を活かしたものとして、上記活動を指標に掲げました。  （最終目標と最終年度）								
（最終目標と最終年度）									

## 【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	セイフティ・センターのスタッフが青少年の悩み相談、若者の自立支援、JR小倉駅周辺や魚町周辺の街頭パトロールを積極的に実施したことから、順調としました。市民からもセイフティ・センターの活動は高く評価されています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	当該法人の事業の公共性の高さ、社会的貢献度や活動実績を勘案して、適正な補助金額を決定しています。

## 【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること

セイフティ・センターは、青少年の悩み相談、若者の自立支援、まちの環境浄化活動の継続を基本としながら、若者の安全教育の場になることを目指しており、本市としても引き続き支援を継続していきます。



# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	北九州市地域安全・安心リーダー養成講座の開催						掲載ページ		
							139		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	市民文化スポーツ局
		45	千円	0	千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	安全・安心推進課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	地域の自主防犯組織である「生活安全パトロール隊」の代表や指導的な立場の人を対象に、安全・安心に関する実践的な講座を開催し、地域防犯活動の更なるレベルアップと活性化を図ります。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。
活動計画		地域防犯活動の更なるレベルアップと活性化を図るため、地域における防犯リーダーの養成講座を開催します。					
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	リーダー養成講座の実施回数		1 回	1 回	1 回	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	地域における防犯リーダーの養成講座の実施が、地域防犯活動の更なるレベルアップと活性化に繋がると考え、活動指標に掲げました。 （最終目標と最終年度） 1回（平成26年度）				100.0 %		
	講座の参加人数		56 人	50 人	52 人	やや遅れ	順調
地域における防犯リーダーの養成講座の実施が、地域防犯活動の更なるレベルアップと活性化に繋がると考え、活動指標に掲げました。なお、地域安全マップづくりなど体験型の講座を効果的に実施するため、50人程度の参加を指標として掲げました。 （最終目標と最終年度） 参加人数50人（平成26年度）		104.0 %			遅れ		

【Check】評価(分析)		
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。  平成26年度は52名の方が参加し、目標を上回っていることから、順調としました。なお、平成17年度以降の延べ修了者数は538人となりました。修了者からは、地域防犯活動に活かせる講座として大変好評を得ています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  会場は、使用料のかからない施設（九州国際大学）を活用するなど、低コストで、質の高い講座を開催できるよう努めています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
当事業は、平成26年度で終了します。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	まちかど見守り運動推進事業						掲載ページ		
							139		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	市民文化スポーツ局
		0	千円	12	千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	安全・安心推進課

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	行政機関や地域住民、企業等が、通常業務や日常生活の中で地域の見守り活動を行い、犯罪の防止を図ります。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	市の公用車に「防犯パトロール」と表示したマグネットシートやステッカーを貼付し、市職員の外出時にあわせて「まちかど見守り活動」を実施します。同様に、本事業に賛同する市民や企業にも、日常生活で無理のない見守り活動をお願いします。								
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】		
	見守り活動への参加人数		14,900 人	15,000 人	14,800 人	98.7 %	大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	一人でも多くの方が防犯意識をもつことや、車両にマグネットシートを貼付することが犯罪抑止力に繋がることから、活動への参加人数を指標として掲げました。  （最終目標と最終年度） 15,000人（平成26年度）								
							やや遅れ 遅れ	順調	
（最終目標と最終年度）									

## 【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	業務中や日常生活における地域の見守り、マグネットシートによる犯罪への抑止効果などが、地域で起こる犯罪発生への未然防止に役立っています。
	【経済性】 【効率性】の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	関係者の協力のもと、経費はマグネットシートやステッカー等の物品費のみであり、低コストで事業を実施しています。

## 【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること

平成27年度から本事業は「生活安全パトロール隊の支援」事業へ統合、一体的に事業に取り組みます。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	落書き消去活動支援事業							掲載ページ	
								139	
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	市民文化スポーツ局
		0	千円	350	千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	安全・安心都市整備課

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	「落書き」は、まちの景観を損なうとともに、放置すれば犯罪の発生を誘発するおそれがあります。地域団体、企業、学校、NPO等に溶剤・用具等の提供を行い、落書き消去活動を支援することにより、安全安心でまちづくりにつなげます。					活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	地域団体、企業、商店街、学校、NPO等に、落書き消しの溶剤や用具等の提供を行い、地域における落書き消去活動を支援します。									
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】				
	落書き消去活動への参加人数	5人	100人	0人	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック				
	地域住民等が自主的に落書き消去活動に取り組むことにより、まちの景観の回復だけでなく、地域におけるモラル・マナーの向上につながるため、活動への参加人数を指標としました。 (最終目標と目標年度)			0.0%						
	(最終目標と最終年度)				やや遅れ	やや遅れ				
				遅れ						

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	昨年度から、市内の全自治会、市民センター、地域団体等に対しても制度の周知を行っています。が、地域からの落書き消去活動の申し出は減少していることから、「やや遅れ」としました。しかし、落書き被害の実態を正確に把握することはできませんが、これまでの取り組みの結果、事業のスタート時に比べ、落書きそのものが減っていると考えられます。 この事業は落書き消去活動を支援するための事業であり、消去活動を見かけた住民のモラル・マナーアップを促すのに必要な取り組みであるため、活動の申し出は少ないものの、制度周知の取り組みは継続すべきと考えています。
	【経済性】 【効率性】の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	地域住民等による自主的な落書き消去活動(ボランティア)に対する支援を行っているものであり、経済性、効率性の視点からも有益であると考えます。

## 【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること

落書きのない環境づくりのため事業を実施するとともに、地域支援事業、出前講演や地域団体の会合などを利用して広報活動を行い、事業を周知します。なお、今後は、「モラル・マナーアップの推進」の一環として、実施していきます。



# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	「安全・安心まっぷ」の作成						掲載ページ		
							139		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	市民文化スポーツ局
		182	千円	0	千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	安全・安心推進課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	地域の街頭犯罪の発生状況や防犯対策を掲載した「安全・安心まっぷ」を区役所や市民センター等で広く市民に配布し、市民の防犯意識の醸成を図ります。		活動実績	安全・安心マップを作成しました。さらに、まっぷを市ホームページに掲載し、周知を図りました。	
活動計画	市民に犯罪の発生状況や防犯対策等を知ってもらうため、「安全・安心まっぷ」を区役所や市民センターなどを通じて、市民に配布します。					
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	安全・安心まっぷの発行部数（3月作成）					
	一人でも多くの市民の目に留まることが防犯意識の高まりに繋がると考え、発行部数を指標として掲げました。  （最終目標と最終年度） 15,000部発行（平成26年度）	15,000 部	15,000 部	15,000 部 100.0 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック  <b>順調</b>
	（最終目標と最終年度）					

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	市民に犯罪の発生状況や防犯対策等の情報を提供するため、区役所や市民センター等を通じて配布しました。また、各区版で作成し、犯罪発生件数は校区ごとに2か年分併記して前年と比較できるようにするなど、分かりやすい紙面づくりに努めました。併せて、本市のホームページに掲載し、周知を図りました。 市民からも、防犯意識を高めるために有効な情報として評価を得ています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	平成20年度まで、市政だよりとともに全戸配布していましたが、平成21年度以降は、市ホームページへの掲載をはじめ、市民センターや区役所等において配布するなど、効率的な事業実施に努めています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
当事業は、平成26年度で終了します。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	明るく安全なまちづくり街灯整備事業						掲載ページ		
							140		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	建設局
		68,622	千円	3,047,245 <small>(道路維持及び交通安全事業等の総額。本事業はその一部)</small>	千円	施策名	安全安心なまちづくり	担当課	道路維持課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	「街をもっと明るく」という市民要望を受け、夜間の交通安全性の向上を目的に、道路照明灯と防犯灯の中間的な街路灯の整備を実施しています。また、「北九州グリーンフロンティア」の取組みの一環として、平成23年度からLED灯を本格導入しています。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。
活動計画	市民の要望を受け、実施します。						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】	
	整備実施灯数	351 灯	-	349 灯	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	街路灯の設置は、市民からの要望がある場合で、要件に合致しているものについて実施しています。したがって、整備目標を設定する性質の事業ではありません。 (最終目標と最終年度)						
					やや遅れ	進捗状況の検証を行う性質の事業ではありません。	
(最終目標と最終年度)				遅れ			

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	<b>■進捗状況</b> 街路灯の設置は、市民からの要望がある場合で、要件に合致しているものについて実施しています。したがって、整備目標(計画)を設定する性質の事業ではなく、当初計画に対する進捗状況の検証はできません。 <b>■有効性</b> 交通安全を確保します。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	LED灯を採用することで、維持管理費の削減を図りました。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
市民からの要望がある場合で、要件に合致しているものについては、着実に実施していく予定です。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	消防“夢”コンサート事業						掲載ページ		
							140		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	消防局
		0	千円	7,574	千円	施策名	安全、安心なまちづくり	担当課	人事課

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	市立の小学校及び特別支援学校(以下「学校」という。)の子ども達を対象に、発育期からの防火・防災意識の高揚を目的として事業に取り組んでいきます。併せて「生演奏の素晴らしさ」や「多くの仲間と音楽を創造するチームワーク」の重要性も伝えていきます。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新年度に教育委員会を通じて市内の学校宛て、公演の募集を行います。(年間公演回数:50回)</li> <li>・公演募集後、学校の都合による公演中止要請があった場合には、振替え公演等の救済措置を図り、より多くの学校で公演ができるよう事業を推進していきます。</li> <li>・依頼がなかった学校にも積極的にアプローチしていきます。</li> </ul>					
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】
	年間公演回数 年間公演回数50回を目標とします。 ※市内全ての学校数(約140校)を3年間で公演できる回数であり、また、音楽隊の他の出演スケジュールを考慮し、実現可能な回数を設定しています。 (最終目標と最終年度) 公演回数50回/年(毎年度)	(開催学校数) 40校 (公演回数) 46回	公演回数 50回	(開催学校数) 48校 (公演回数) 53回 106 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック 大変順調

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	当事業については、ほぼ予定通り進んでいることから、大変順調としました。アンケートからも約99%の学校が「非常に良かった」、「良かった」と回答していることから、活動は有効であると判断します。未依頼校についても、積極的なアプローチの効果が表れ、初めて公演した学校もありました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	これ以上コスト削減の余地はありません。また、より高い効果を得るために、新しい楽曲や流行曲・子ども達が興味を持つような演出を常に心がけていきたいと思えます。

## 【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること

公演実施後のアンケート結果を参考に、より充実した満足の高い事業を展開していきます。さらに、新しい楽曲・流行曲を常に把握し、一人でも多くの子ども達に「防火・防災意識」や「音楽の素晴らしさ」を伝えていきます。また、公演募集後、学校の都合による公演中止要請があった場合には、振替え公演等の救済措置を図り、より多くの学校で公演ができるよう事業を推進していきます。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	「消防士さんといっしょ」事業						掲載ページ	
							140	
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局
		1,179	千円	6,971 <small>(予防行政事業の総額。本事業はその一部)</small>	千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	防火・防災のプロである消防職員が「ゲストティーチャー」として小学校に出向き、各小学校の協力を得て、社会科教育の一環として「消防のしごと」の授業を行うことにより、児童への防火・防災教育の充実を図ります。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	<p>授業はもちろんのこと、「スモークマシンを活用した煙体験」、「消火器(訓練用)の取扱い」、「119番通報訓練」、「空気呼吸器、消防用ホース等の資器材の取扱い」といった児童が実際に体験出来るような内容を多く取り入れ、消防局でしか出来ないような授業を展開していきます。</p> <p>また、講師については、実際に災害現場で活動する消防職員が全て担当し、様々な体験談を踏まえながら授業を実施していきます。</p>					
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】
	「消防士さんといっしょ」対象校の年間実施率	100 %	100 %	100 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	市内すべての小学校(ただし、特別支援学校及び複式学級等を除く)を対象とした年間実施率です。将来を担う子どもたちに「防火・防災」について認識をもたせることは、北九州市を「災害に強いまち」とするための基盤として重要なことであるため、実施率100%と設定しました。 ※ 対象校数:132校			100.0 %		
	アンケートの回答結果	100 %	100 %	100 %	やや遅れ	大変順調
実施学校にアンケート調査を実施した結果、児童の反応についての問いに「非常に良かった」「良かった」と回答の集計結果及び「今後もこの授業は継続したいか」との問いに、「希望したい」と回答の集計結果を100%と設定しました。 ※ アンケート回答数:116校	100.0 %			遅れ		
(最終目標と最終年度) 上記目標に対し100%を維持する。						

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	活動の状況は大変順調です。 上記活動指標(「消防士さんといっしょ」対象校の年間実施率、アンケートの回答結果)の目標に対し、どちらも100%達成することができました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	本事業での使用資機材(スモークマシン等)については、各署2台という少ない数で計画的に使用し、経済的、効率的に実施できました。 また、講師については、本事業が消防職員の体験談等を踏まえた授業内容を構成しているため、他の実施主体(委託等)は考えられません。

## 【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること

子どもたちが「防火・防災」について認識を持ち、そのことを家庭・地域生活の中で実践していく力を育むことは、将来の北九州市を「災害に強いまち」にするためにも重要なことであると考えます。  
よって、今後も積極的な取組みを継続していく必要があります。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	児童見守り消防隊						掲載ページ		
							140		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	消防局
		0	千円	0	千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	警防課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を(誰を)どの様な状態にしたのか	児童が登下校時に犯罪に巻き込まれないよう、教育委員会等各関係機関と連携し、地域における安全確保を図ります。 具体的には、児童の登下校時に声掛けを実施したり、業務出向時に通学路のパトロールを実施します。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	児童が登下校時に犯罪に巻き込まれないよう、通常業務に支障のない範囲で積極的に市内全小学校区で「児童見守りパトロール」を実施します。						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)		前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】
	市内全小学校区での「児童見守りパトロール」の実施件数		4,140 件	3,000 件	4,104 件	大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	市内全小学校区において児童見守りパトロールを行うことで登下校時の安全が確保されと考え、実施件数を活動指標としました。 目標値については、年間登校日数約200日×登下校2回×7区に各区の実情を加味した数値としています。 (最終目標と最終年度) 3,000件 (毎年度)				136.8 %		
						やや遅れ	大変順調
(最終目標と最終年度)					遅れ		

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	「児童見守りパトロール」をほぼ昨年度並みに実施し、目標を大幅に上回ったことから、大変順調としました。 当該事業の実施成果を数値で計ることは困難ですが、地域で消防車が巡回するだけでも、犯罪に対する抑止効果、児童犯罪の防止につながり、こういった地域に密着した取り組みを継続することで、地域住民との間に信頼関係が築かれるものと考えます。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	消防隊の業務出向時等の通常勤務の傍らで実施する事業であるため、コストを必要とせず効率的と考えます。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
消防車両によるパトロールを実施することで、犯罪の抑止ができるため、今後も同様の内容について継続していきます。



# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	パパママ救急教室						掲載ページ		
							140		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	消防局
		0	千円	0	千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	救急課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	少子化・核家族化が進む中、子どもの病気やケガへの対応などに不安を抱える子育て中の親は多いと考えられることから、子育てへの不安を少しでも軽くし、また、かけがえのない小さな命を守るため、新米パパママを対象に、子どもに関する応急手当教室を開催します。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。
活動計画	市内2箇所の施設(小倉AIM、黒崎COMCITY)で継続的に講習を実施します。						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)		前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】
	受講者数		413 人	200 人	325 人	162.5 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ
	パパママ救急教室を実施することが、子育てへの不安を少しでも軽くできると考え、受講者数を活動指標とします。 (最終目標と最終年度)継続実施						
	(最終目標と最終年度)						順調

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	目標を超える受講者があり、新米パパママのニーズに合った知識・技術を得る機会を提供できていることから、順調としました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	短時間かつ少人数での実施ができ、人件費を除くコストはほとんどかかっていません。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
これまでの目標達成度から市民のニーズはあると考え、今後においても継続実施します。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	J-DIG(中学生を対象とした災害図上訓練)						掲載ページ		
							141		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	危機管理室
		952	千円	727	千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	危機管理室

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか 地域に居住する中学生に対してDIG(J-DIG)を実施し、若年層の防災教育の充実強化を推進するとともに、将来の防災リーダーの育成を図ります。 ※DIGとは・・・地域で大きな災害が発生した場合を想定し、地図への書込みを通して、参加者自身が地域の防災上の長所・短所を理解し、災害活動及び事前対策へのイメージを膨らますことが出来る住民参加型の災害図上訓練。	活動実績 平成26年度は、全市立中学校に対して実施希望調査を行い、実施希望のあった中学校に対してDIGを実施しました。
活動計画	平成26年度もJ-DIGを実施することで、若年層の防災教育の充実強化を推進するとともに、将来の防災リーダーの育成を図ります。	

活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】
		J-DIGの実施回数 J-DIGを実施することが、若年層の防災教育の強化に繋がると考え、実施回数を活動指標としました。 (最終目標と最終年度)	5回	10回	4回 40.0%	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ
(最終目標と最終年度)						

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 平成26年度は実施校が1校減ったものの、DIGに対する生徒の反応や感想も良好であり、さらにはまちの危険箇所を知ることが出来る等、災害から身を守り、生き抜く力を育成する防災教育といった観点からも、有効性は高いと考えます。
	「経済性」「効率性」の分析 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 講師は地域の消防署職員が実施しています。今後は、総合的な防災教育の観点から生徒はもちろん、教員の育成も含めた仕組み作りを検討していく必要があると考えます。

## 【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること

市立中学校校長会等での事業説明等、様々な機会を活用してPRを行い、実施校の増加を目指します。また、市教育委員会が作成した「防災教育プログラム」における指導方針をふまえ、J-DIGの内容を「主体的な判断・行動のための適切な判断の材料探し(なぜ、安全又は危険だと思うのか)」及び「中学生としての地域や社会に貢献できることは何か」まで踏み込んだ内容にします。